中部家保が山口大学でウイルス実習の出前講座を行いました

山口農林事務所畜産部
平成22年12月16日

12月14日に中部家畜保健衛生所が山口大学農学部において、獣医学科３年生ほか40名を対象としたウイルス学実習の出前講座を行いました。今回は、高病原性鳥インフルエンザ検査で用いられる発育鶏卵接種法によるウイルス分離についての実習です。学生は初めて見る発育鶏卵に興味津々の様子で、熱心に実習に取り組んでいました。担当した病性鑑定室では、獣医師の卵に、少しでも家畜保健衛生所の業務に対し興味を抱いてもらうため、また、将来の産業動物獣医師確保のため、獣医学教育のサポートにも取り組んでいます。

実習風景

真剣です！